

研修医通信

Vol. 146 2024.12月号

あっという間の地域研修。小さな病院だから、上級医の先生だけでなく看護師さんや関わるスタッフの方々がみんなプロフィール読んでくれていて、「先生、富山大学なんですよ！」「元京大なんだって？」声をかけてくれる。医局の窓からは太平洋の大海原が見え、宿舎の玄関を開ければ満点の星空。ゆっくりとした時の流れとアットホーム過ぎる環境ですっかり馴染んでしまった。1ヶ月楽しく充実した研修でした。紀南病院のみなさま、ありがとうございました。こっちにいる間に食べていちばん美味しかったのは熊野市の「ほくしょう」で食べた鯖の刺身。おすすめです。

市立四日市病院 岡本健太



地域医療研修を通じて、地域医療の重要性を改めて実感しました。都市部とは異なり、地域特有の課題や患者さん一人ひとりに深く関わる医療の現場を体験し、医師としての責任の重さとやりがいを感じました。また、医療資源が限られる中で、地域住民の生活背景や文化を尊重しながら診療を行う工夫が求められる点に感銘を受けました。医療従事者間のチームワークや地域住民とのつながりの大切さも学ぶことができ、今後のキャリアに活かしていきたいと考えています。平山先生をはじめ研修をサポートしていただいた皆様本当にありがとうございました。一ヶ月間お世話になりました。

鈴鹿回生病院 西山輝



1ヶ月、一瞬で終わってしまいました。救急、内科、診療所、訪問診療、さまざまな地域医療のカタチを体験できました。あっちこっちに観光に行き、ロケットを応援し、美味しいものを食べ、満喫しました。至らぬ点ばかりでしたが、大部先生をはじめ多くの先生方やスタッフの方々に助けていただいて感謝しかありません。紀南病院に来てよかったです。ありがとうございました！

神島一周ルートが思ったよりキツかった！筋肉痛になりました。。

東京大学医学部附属病院 阿部史門

